

くずは

2023. 12. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題「キマダラカメムシ」

ついこの間まで暑い暑いと言っていたのに、11月下旬には秋を通り越していきなり寒くなりました。

いよいよ、くずはの家の冬のお楽しみ、薪ストーブの季節がやってきました。

一昨年、昨年と猛威を振るったナラ枯れ(ブナ科樹木萎凋(いちょう)病)で、枯れてしまったために伐採したコナラやクヌギを、ボランティアの皆さんのご協力ですべて薪に加工したものが、一冬分以上ストックできました。この薪をくずはの家の外壁際と薪小屋に積んで乾燥させてあるのですが、ここが成虫越冬するカメムシにとっては絶好の冬越し場所となっているようで、積んだ薪の隙間でたくさんのカメムシが動かずにじっとしています。

カメムシは種類によって、卵で越冬するもの、幼虫で越冬するもの、成虫で越冬するものがあります。広場にもたくさんいるクヌギカメムシ類は、樹皮の間や樹木名板の下などにゼリーに覆われた卵を産み、そこで卵で越冬します。外来種のヨコヅナサシガメなどは、桜の木の雨が当たらない場所で幼虫の集団で越冬します。

さて、薪の間のカメムシですが、一昨年まではクサギカメムシという体長15mmほど(1円玉に描かれた木程度)の黒褐色のカメムシばかりでした。ところが今年は、体長20mmを超える(1円玉からあふれる)巨大なカメムシが、クサギカメムシに混じって越冬するよう

になりました。このカメムシは「キマダラカメムシ」と言います。黒褐色の体色に小さな黄色い点を散らして、全体の印象はクサギカメムシに似ていますが、なんと言ってもその大きさが、まるで違います。一目見て「でっかいなあ!!」と思う大きさをしています。



キマダラカメムシ (左はクサギカメムシ)

台湾から東南アジアを原産とする外来昆虫ですが、キマダラカメムシが新種として記載されたのは1783年のこと、1770年代に長崎県の出島で採集されたものを元標本(タイプ標本)としてだそう、その頃、出島では極めて普通に見られるカメムシだったそうです。ところがその後150年間再発見されることがなく、再び確認されたのは1934年頃、長崎市を中心とした県内各地で採集されるようになったそうです。その後しばらくは、長崎、九州地方だけで見られるカメムシでしたが、2000年頃から分布が徐々に東に拡大し、現在では関東より北の地域でも見つかるようになりました。温暖化の影響がこんなところにも現れているのでしょうか?

食草はサクラ、カキノキ、フジ、ニセアカシア、クワ、エノキ、ウメが確認されていて、カキに関しては渋柿からも盛んに吸汁するそうです。競合する他のカメムシや生態系、農作物への具体的影響はまだ定かでないと言われて

くずはの家 行事案内

昼の行事：小学2年生以下は保護者同伴、夜の行事は小学生以下は保護者同伴

日時	テーマ・場所・講師	対象・定員	受付開始
11月25日(土)～12月24日(日)	自然素材のクリスマス飾り ちっちな展示会	くずはの家廊下 ギャラリーにて展示	ご自由にご覧下さい
1月6日(土) 9:00～12:00	「水辺の野鳥観察」 ～小田原城址公園から御幸の浜周辺～ くずはの広場指導員・えのきの会野鳥分科会	小学生以上20名 (小学生は保護者同伴) 保険代50円	12月15日
1月27日(土) 9:30～11:30	「まゆ玉と竹でつくる 小さなおひなさま」 えのきの会遊び分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 20名	1月4日

ないと言われていたのですが、いずれにせよ植物から吸汁する植食性のカメムシであれば、農作物に対して何らかの影響があるものと考えられます。今後生き物の世界はどう変わっていくのでしょうか。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋

「自然素材のクリスマス飾り ちっちな展示会」開催中!



ボランティアの皆さんや職員が作ったクリスマス飾りを展示しています。ミニリースキットを100円でお分けしています(先着100個・ご来場の方1人1点。12月24日まで。

行事へのお申し込み・お問い合わせは 電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

12月の休館日
4日、11日、18日、25日、29～31日

1月の休館日
1～3日、9日、10日、15日、22日、29日
<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/>
秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家HPがあります!

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

11月の活動

定例会：1回目は、進入路と散策路の落ち葉掃きを行いました。肌寒くなり、一昨年植菌したほだ木からシイタケが出てきました。梅林とはんのか林とくすのき広場で6kg以上収穫しました。

2回目は、進入路とどんぐり山の落ち葉掃き、クリスマスリース用のヒムロスギの準備、昆虫の月例観察会用の薪の切断を行いました。

花壇の会：花壇の草取りと解説板の入れ替えを行いました。

とんぼのせせらぎ：今月はお休みしました。

☆これからの活動

定例会：12/21(木)、1/18(木)

※1/7(日)はお休みです。

花壇の会：1/11(木)※変更になっています

とんぼのせせらぎ：1/25(木)



この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。
セブン・イレブン記念財団

行事報告



11/23(木)自然素材のクリスマスリースづくり (39人)

参加者の声 ・色々な植物の話も聞きながら楽しく作らせていただきました。綿やとうがらしもいただいたので来年は植えて自分が作ったもので作成したいと思います。ありがとうございました。
・とても素敵なおリースができました。ご準備すごいです! あっという間の時間でした。楽しかったです。



11/25(土)冬越しの虫をさがそう! ～朽木を割ってみよう (27人)

参加者の声 ・色々な木を割ったり、虫を見られたりできてすごく楽しかったです。虫を木に戻すところも、虫が元気に育ってくれるところも楽しみです。
・ずっと秦野に住み、働いてきましたが、このようなパークがあるとは驚きです。子供が「ここから別世界なんだよ!」と声をあげていてまさにその通りでした。

くずはの広場観察路マップ

2023年11月27日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
 - ▲ 咲き始め
 - 開花
 - ◎ 満開
 - 咲き終わり
 - ◇ 実
 - ◆ 熟した実



11月の野鳥

(10月31日～11月27日調べ)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1、キジバト | 23、カワラヒワ |
| 2、アオサギ | 24、シメ |
| 3、トビ | 25、イカル |
| 4、ノスリ | 26、アオジ |
| 5、カワセミ | 27、コジュケイ |
| 6、コゲラ | 28、ガビチョウ |
| 7、アオゲラ | |
| 8、リュウキュウサンショウクイ | |
| 9、モズ | |
| 10、ハシボソガラス | |
| 11、ハシブトガラス | |
| 12、ヤマガラス | |
| 13、シジュウカラ | |
| 14、ヒヨドリ | |
| 15、ウグイス | |
| 16、エナガ | |
| 17、メジロ | |
| 18、シロハラ | |
| 19、ツグミ | |
| 20、ジョウビタキ | |
| 21、キセキレイ | |
| 22、セグロセキレイ | |

11月の昆虫

- チョウ・ガの仲間**
- ナガサキアゲハ
 - アサギマダラ
 - クロノマチョウ
 - カタテハ
 - アカタテハ
 - コムシジ
 - キタキチョウ
 - ツマグロヒョウモン
 - ヒメウラナミジャノメ

ハチ・アブ・ハエの仲間

- クロオオアリ
- クロヤマアリ
- クロクサアリ
- ウメマツアリ
- ホソヒラタアブ
- ミスジミバエ
- ヨモギシロケフシタマバエ(幼虫)
- (虫こぶ名:ヨモギハシロケタマフシ)

カメムシの仲間

- エサキモンキツノカメムシ
- クサギカメムシ
- ホオズキカメムシ
- ツヤアオカメムシ
- キマダラカメムシ
- サビヒョウタンナガカメムシ

ムラサキシラホシカメムシ

- ムラサキシラホシカメムシ
- セスジナガカメムシ
- オオヨコバイ
- ツマグロオオヨコバイ
- アオバハゴロモ
- アザミオオヒゲナガアブラムシ

カブトムシの仲間

- ナミテントウ
- ナガニジゴミムシダマシの仲間
- カブトムシ(幼虫)
- クワガタムシの仲間(幼虫)
- タマムシの仲間(幼虫)
- コバネハサミムシ

くずはの広場トピックス

ランの戦略…11月上旬
緑地で初認のアキザキヤツシロランが実をつけ始めたら、あれよあれよと伸び始め35cmもの長さになりました。粉のようなたねを風に乗せ遠くへ飛ばす戦略です。

ヒメクダマキモドキ…11月26日
暖かい海岸林などに多く見られる昆虫で、今まで葛葉峡谷ではあまり見なかった昆虫です。近年の暑さで分布を拡大したようで、今年は何回も見つけれられています。

空き巣発見…11月27日
梅林でそれはそれは大きなキイロスズメバチの巣が発見されました。すでに空き屋ですが、人知れずここでたくさんの命が生まれていたとは…びっくりです。



キイロスズメバチの巣
写真: 港屋啓三氏



シメ